

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年6月22日(2017.6.22)

【公表番号】特表2016-522856(P2016-522856A)

【公表日】平成28年8月4日(2016.8.4)

【年通号数】公開・登録公報2016-046

【出願番号】特願2016-515361(P2016-515361)

【国際特許分類】

C 08 F 220/18 (2006.01)

C 08 F 2/50 (2006.01)

C 08 L 33/08 (2006.01)

C 08 K 3/36 (2006.01)

C 08 F 292/00 (2006.01)

C 08 J 5/18 (2006.01)

C 08 J 3/24 (2006.01)

【F I】

C 08 F 220/18

C 08 F 2/50

C 08 L 33/08

C 08 K 3/36

C 08 F 292/00

C 08 J 5/18 C E Y

C 08 J 3/24 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月11日(2017.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

50～77重量%の2-エチルヘキシリクリート、

2～10重量%のアクリル酸、

20～40重量%の2-ヒドロキシエチルクリート、

0.1～0.5重量%の硬化剤、及び

0.1～0.2重量%の光開始剤を含む、硬化性アクリル組成物。

【請求項2】

前記硬化剤が、二官能性アクリル酸エステルを含む、請求項1に記載のアクリル組成物。

。

【請求項3】

前記光開始剤が、2,2-ジメトキシフェニルケトンを含む、請求項1に記載のアクリル組成物。

【請求項4】

アクリルゴムロールを製造する方法であつて、

50～77重量%の2-エチルヘキシリクリート、2～10重量%のアクリル酸、
20～40重量%の2-ヒドロキシエチルクリート、及び0.1～0.5重量%の硬化剤を室温で混合し、攪拌して混合物を形成する工程と、

0.1～0.2重量%の光開始剤を前記混合物に添加し、前記光開始剤が完全に溶解するまで攪拌し続けて、アクリル組成物を形成する工程と、

前記アクリル組成物に紫外線を照射し、前記アクリル組成物を架橋硬化させて、アクリルテープを得る工程と、

前記アクリルテープをプラスチックゴムロール軸のサイズに応じて切断し、前記アクリルゴムロールを得るように、前記アクリルテープを、気泡を回避しながら、自由に回転できるゴムロールに均一に貼り付ける工程と、

を含む、方法。